



それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より遅しく

令和2年6月12日
足利市立第三中学校
生徒数：199名
発行者：高木秀利



新型コロナウイルス3つの顔を知ろう！

～負のスパイラルを断ち切るために～

第三中学校では、毎週水曜日の第5校時が、全クラス道徳の授業です。6月10日(水)は、「新型コロナウイルス3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」という題材で1年生から3年生までの全クラスが同じ内容の授業を展開しました。これは、担任の先生一人一人の思いが、授業実施のきっかけでした。学校再開の準備をする中、感染拡大防止としての、手洗い、マスク、消毒、その他諸々、何か抜けていることはないか、先生方皆で日々考えていました。そこで、一番大切なものは、皆さんの心のケアと、これからまだまだ続くコロナ対策の日々の中で、先生方も皆さんも、それぞれがコロナへの不安から間違った見識を持たないように、数多い情報に惑わされないように正しい知識、適切な判断ができるよう支援することだと気づきました。

皆さんの、コロナウイルスへの思いをアンケートにより把握した上で、それぞれの担任の先生が各クラスの実態に合わせた授業を考えました。3年生では、動画を利用したり、1、2年生は難しい表現を避け、担任の先生が画像を説明したりと、考えて欲しいことは同じでも、その投げかけ方は、目の前の皆さん一人一人を思いながら考えて授業の準備をしていました。担任の先生方が集まって、夜遅くまで、授業について話し合うこともしばしばありました。学校では、研究授業というのがあります。教育委員会の指定を受けてたり、自主的に学校として実践したり、いくつかの種類があります。皆さんも、たくさんのお客様が授業を見に来て、先生が、緊張した様子で授業している姿を見たことがあるでしょう。しかし、今回の授業は、研究授業ではありません。研究授業は、皆さんに「わかる授業」を提供したり、教師の指導力を高めるたりすることがねらいです。今回の道徳の授業は、ただ純粋に、先生方の「思い」が原動力になっています。当日、6月1日の再開当日のテレビ報道がきっかけで、市役所広報課、新聞社、テレビ局の報道は入りましたが、皆さんが受けた授業は特別なものではなく、日常の一コマの中で担任の先生が皆さんに投げかけた問いです。だからこそ、熱い思いで授業を展開してくれた先生方、そして、その授業に真剣に取り組み、よく考えクラスメイトと意見を交わし合ってくれた皆さんを、大変誇りに思います。どうもありがとうございました。以下、保護者の皆様に、当日の様子を、写真と下野新聞の記事で紹介させていただきます。



不安、差別問題、感染拡大



グループワークで意見交換をする生徒

足利三中

全生徒を対象に授業

【足利】生徒らの新型コロナウイルス感染症に対する不安を
やわらげようと、足利三中で10日、全校生徒を対象に「新型コ
ロナ」をテーマにした授業があった。感染への不安や感染者へ
の差別問題などについて考える機会になった。(我妻昭徳)

負けない
新型コロナ

通常登校が約3カ月ぶり
に再開するのを機に、河内
理絵子教諭が発起人にな
り、他の教諭らと共に授
業を企画。まず、生徒らの新
型コロナに対する意識を把
握しようと再開初日にアン
ケートを実施した。その
75%の生徒が「怖い」「不
安」と回答したという。
この日は、「感染者の発
生で不安が生まれ、その不
安が差別の原因となる。差
別が生まれれば、受診をた
めらうことになり、結果と

コロナを学び、考える

県南・両毛版

SHIMOTSUKI SHIMOTSUKI SHIMOTSUKI SHIMOTSUKI

新型コロナウィルスから学ぶ
～3つの顔を知ろう～

100% 道徳

①病気
・手洗い・うがい・消毒をする
・マスクをする・フェイスガードを
・不要不急な外出を控える
・早寝・早起き・朝ご飯・運動を
・3密を避ける(密集・密接・密閉)

②不安
「友だちが感染しても、冷
静に見守る」「二つの情報
だけで物事を判断しない」
などの意見が出ていた。授
業を受けた3年小林利子
さん(14)は「それが感染し
ても不思議ではない。感じ
たい」と話した。

③差別

して感染拡大を招く」とい
う「負のスパイラル」をい
かに断ち切るかなどをテー
マに、道徳の時間を使って
考えた。
3年生はグループワーク
なども実施し、生徒からは
「友だちが感染しても、冷
静に見守る」「二つの情報
だけで物事を判断しない」
などの意見が出ていた。授
業を受けた3年小林利子
さん(14)は「それが感染し
ても不思議ではない。感じ
たい」と話した。

- 研習室
TEL 028(625)1179
- 足利総局
TEL 0284(40)1023
FAX 0284(40)1024
- 小山総局
TEL 0285(30)1123
FAX 0285(30)1124
- 堤野支局
TEL 0283(20)1123
FAX 0283(20)1124
- 新木支局
TEL 0282(20)1023
FAX 0282(20)1024

掲載写真 詳細は
WEBで!
購入できます
デジタルメディア部
〒930-0884-1(両毛事業部)永
028-625-1102

新型コロナウィルスの3つの顔
負のスパイラルを防ぐために
私たちにできること

100% 道徳
2年1組

①病気
・フェイスシールド・消毒をする 物を触らない
・手洗い・うがい・検温 消毒 色紙に貼る
・マスクの着用 不要不急な外出をしない
・密にならない(空間・密集・密接)

②不安
「あの人咳して...」「コロナなんじゃな」と
「あの地域はコロナが流行っているからあんな」
「ものを買いなはめよう...」
「熱があるけど怖いから黙っていろ...」
「このように思い、行動するとこの
「感染症」は広がっていきます。
これらの「感染症」を防ぐために、
私たちはどのような工夫ができる
でしょうか？」

③差別

この「感染症」の怖さは、病気が不安を
呼び、不安が差別を生み、差別が更なる
病気の拡大につながるのです。

食のスパイラルで「感染症」が広がる

3つの「感染症」は
どうつながっているの？

③差別を受け取るのが怖くて
熱や咳があっても受診
をためらう。結果として
病気の感染を招く

①未知なウイルスで
わからないことが
多いための不安が
生まれる

第1の「感染症」
「病気」

第2の「感染症」
「不安」

第3の「感染症」
「差別」

不安や恐れは私たちが
ふりまわされたいために

第2の「感染症」に

聞きか
気づく力
自分を支える力
を弱めます。

不安や恐れは身を守る為に必要な
感情ですが、私たちが力を奪い、
冷静な対応ができなくなることも
あります。

道徳学習指導要領 令和2年度(2020年) 2020年

1. 総論 「新型コロナウイルス感染症」をテーマとした道徳教育の重要性

2. 目標 ① 心身の健康、生活態度

3. 学習の目標 ① 新型コロナウイルス感染症の基本的な知識、理解
② 新型コロナウイルス感染症の予防策、感染防止策の理解、実践
③ 新型コロナウイルス感染症の被害者に対する差別の防止、差別の解消

4. 学習の過程 ① 新型コロナウイルス感染症の基本的な知識、理解
② 新型コロナウイルス感染症の予防策、感染防止策の理解、実践
③ 新型コロナウイルス感染症の被害者に対する差別の防止、差別の解消

5. 学習の成果 ① 新型コロナウイルス感染症の基本的な知識、理解
② 新型コロナウイルス感染症の予防策、感染防止策の理解、実践
③ 新型コロナウイルス感染症の被害者に対する差別の防止、差別の解消

6. 評価 ① 知識、理解、態度、行動、学習態度の観察(1) ② 学習態度の観察

7. 教材 ① 教材(1) 教材(2) 教材(3) 教材(4) 教材(5) 教材(6) 教材(7) 教材(8) 教材(9) 教材(10)

8. 教材(1) 教材(2) 教材(3) 教材(4) 教材(5) 教材(6) 教材(7) 教材(8) 教材(9) 教材(10)

9. 教材(1) 教材(2) 教材(3) 教材(4) 教材(5) 教材(6) 教材(7) 教材(8) 教材(9) 教材(10)

10. 教材(1) 教材(2) 教材(3) 教材(4) 教材(5) 教材(6) 教材(7) 教材(8) 教材(9) 教材(10)